

市職員の給与を公表

野田市職員の給与の概要をお知らせします。

詳細は、情報公開コーナー（市役所3階）と市ホームページにも公表しています。

◆給与の状況

○給与のしくみ
地方公務員の給与は、地方公務員法により、一般家庭の生計

費、国や他の地方公共団体の職員の給与、民間企業従業員の給与、その他の事情を考慮して決めることになっていきます。
職員の給与は、この趣旨に基づいて、国家公務員給与の人事院勧告や他の地方公共団体の職員の給与などを考慮して、市議会の審議を経て条例で定められています。

○給与の内容

給与	毎月決まっ て支給さ れるもの	給料	職務の種類と内容に応じて給料表に定める額
		扶養手当	扶養親族のある職員に支給
		地域手当	民間賃金、物価などが高い地域に勤務する職員に支給
		住居手当	借家などに居住し、家賃を支払っている職員または自宅に居住し、世帯主である職員に支給
		通勤手当	電車・バス・乗用車などにより通勤する職員に支給
	勤務の実績 に応じて支給 されるもの	管理職手当	管理または監督の地位にある職員に支給
		時間外勤務手当	通常の勤務時間を超えて勤務したときに支給
		特殊勤務手当	危険・不快・不健康・困難などの著しく特殊な勤務に従事したときに支給
	臨時に支給 されるもの	その他	夜間勤務手当・休日勤務手当など
		期末・勤勉手当	民間企業のボーナスに相当する手当
	退職手当	職員が退職したときに支給する一時金	

（注）職員手当には退職手当を含みません。
職員数は、22年4月1日現在の人

○職員給与と費（22年度普通会計決算）

職員数 (A)	1,028人	
給与 費	給料	4,270,892千円
	職員手当	860,241千円
	期末・勤勉手当	1,548,211千円
	計 (B)	6,679,344千円
1人当たり給与費 (B/A)	6,497千円	

（注）人件費とは、職員に支給された給与、退職手当、共済組合事業主負担金、公務災害補償基金負担金、特別職に支給された給与などの総額をいいます。なお、21年度の人件費比率は、21.4パーセントでした。
普通会計とは、水道、下水道、介護保険事業などの独立採算制を原則とする会計以外の会計をいいます。
実質収支とは、歳入総額から歳出総額と翌年度に繰り越すべき財源を控除した額をいいます。

○人件費（22年度普通会計決算）

住民基本台帳人口 (H23.3.31)	155,285人
歳出額 (A)	44,629,280千円
実質収支	1,584,515千円
人件費 (B)	9,499,795千円
人件費比率 (B/A)	21.3%

（注）ラスパイルズ指数とは、国家公務員の給与水準を100とした場合の、地方公務員の給与水準を示したものです。
「地域手当補正後」とは、地域手当を加味した地域における国家公務員と地方公務員の給与水準を比較するため、地域手当の支給率で補正したラスパイルズ指数です。

○ラスパイルズ指数

区分	17年度	20年度	21年度	22年度
野田市	101.2	100.2	100.2	100.7
	—	104.1	102.1	100.7
柏市	99.5	101.1	101.4	101.3
	—	103.0	103.3	103.2
流山市	97.8	99.4	99.0	100.3
	—	104.2	103.8	105.2
千葉県	98.4	100.6	100.9	102.8
	—	99.8	100.2	102.1

（注）技能労務職の初任給は、職種により異なるため、全ての職種の平均値です。

○初任給

区分	野田市	千葉県	国
一般行政職	大学卒	178,600円	I種 181,200円 II種 172,200円
	高校卒	149,800円	140,100円
技能労務職	高校卒	141,275円	—
	中学卒	133,925円	

23年4月1日現在、学校卒業後直ちに採用された場合の初任給は、次のとおりです。